

# 重要文化財大安寺本堂ほか7棟 保存修理事業の経過報告

## 山門と鐘楼が完成しました

今回の全8棟保存修理事業の中で初めて、山門と鐘楼が完成しました。史料や解体に伴う調査の結果判明した以前の姿にそれぞれ復原され、雰囲気ががらりと変わりました。

### 完成した山門

瓦は越前赤瓦で葺かれ、  
笏谷石の石棟が取り付けられました

山門を守る大扉や袖塀の潜り戸も  
綺麗に修復されています

山門下を通過していた車道が  
石段に復原、石敷の参道が  
整えられました

2017年に倒壊した山側の袖塀も  
保管していた古材をもとに修復されました

修理前の山門  
(2019撮影)

### 完成した鐘楼

建立当初のこけら葺の屋根に  
葺き直されました

山門と同じく石棟は  
笏谷石でできています

建立以来 350年以上鐘を  
吊り下げてきた金具も補強、  
再び鐘を吊り下げています

修理前の鐘楼  
(2019撮影)

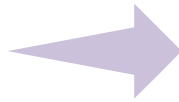
地盤沈下などで変形していた  
石垣も綺麗に積み直されて  
います



## あげや 本堂は揚屋工事が始まっています

本堂は基礎の補修や補強のため、建物全体を持ち上げる揚屋工事が行われています。

ジャッキアップは手作業で高さを揃えながら慎重に行われました。柱が浮き上がり、建物全体が持ち上がっているのが分かります。



この状態で、基礎部分の修復を行っています。

すべての基礎の石を一旦取り外し、地面を平らにしてコンクリートで固めることで地盤沈下を防ぎます。

柱の根元も、シロアリや腐れなど状態が悪い場所を切り落とし、新しい木材で継ぐ「根継」を行っています。柱を支える石材（礎石）も補強や補修を進めています。

## 今後の工事予定

本堂は今後、揚屋工事での基礎部分の修復が終わると、本格的に組立工事が始まっていきます。解体工事とは逆に下からの工事が進められていきます。

これまでの工事の様子は動画でも公開しています。ぜひご覧下さい。

令和元年度前期



まずはここから！  
工事の概要が分かります

令和元年度まとめ



文化財の解体とは？  
素屋根工事は必見です

令和二年度まとめ



いよいよ本堂の解体開始！  
山門は組立が始まりました

令和三年度まとめ



鐘楼も工事スタート！  
様々な職人が活躍中です

タブロイド Vol.1  
発行しました



今回の修理工事を通して  
見えてきた歴史をより身近に  
感じられる内容です。  
ぜひご覧ください。  
(隔年発行予定)

設計監理：公益財団法人文化財建造物保存技術協会（東京都荒川区）  
工事請負：松浦建設株式会社（石川県能美市）

